事業所名　就労準備型　放課後等デイサービスじぶんいろ未来

# 支援プログラム

作成日　令和 8 年 9 月 1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | それぞれの色を見つけ、その色を楽しみながらカタチにする自立、自己決定できるお子様を目指した療育を行います。 | | | |
| 支援方針 | お子様それぞれに合った環境を作り、お子様の意思表示、自己決定決断を大切にし、個別で丁寧な療育を提供し、「就労・進学する為の体の能力」「他人・自分自身への意思表示、自己決定ができる能力」を育む事が「就労準備」として非常に重要な療育をじぶんいろ未来にて行います。 | | | |
| 営業時間 | 平日：13:00～17:00<br>土曜日・学校休校日：10:00～17:00 | | 送迎実施の有無 | (あり)　なし |
| | 支　援　内　容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ○健康な心と体で過ごせるよう、安心・安全な生活の場を作り支援します。<br>○発達及び特性に配慮し常に状況・状態を把握し、適切に支援します。<br>○基本的生活スキルの獲得・習得を目指し、睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムが身につくよう支援します。 | | |
| | 運動・感覚 | ○運動機能の向上を目指しながら自立した行動が出来るよう支援します。<br>○感覚の特性（感覚過敏、感覚鈍麻）に配慮しつつ、感覚の偏りに対する環境調整を行います。<br>○パソコンを使用し、プログラミング基礎、eスポーツ、CAD、ワードやエクセル等を学びながら、パソコンの使用の仕方を身につけ、手先の訓練を行います。 | | |
| | 認知・行動 | ○遊びやパソコンをメインに、視覚・触覚・聴覚等の五感を刺激し、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。<br>○パソコンを使用したり、物の機能や属性、形、色の違い等の習得が出来るよう支援します。<br>○感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生じる行動障害の予防及び適切な行動が出来るよう支援します。 | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ○会話や話言葉、文字や記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えられるよう支援します。<br>○文字や記号、絵カード等のコミュニケーションツールを活用したり、環境の理解と意思の伝達が出来るよう支援し、保護者や学校の先生以外の人にも、困っていることや自分の気持ちを自発的に伝えられるよう支援します。<br>○就労支援事業所や一般企業と連携をしながら、実際の面接等の練習を重ねながら、様々なケースを想定しロープレ等SSTを行い、将来を見据えた支援を行います。 | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ○感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやごっこ遊びを通して、少しずつ社会性が身につくよう支援します。<br>○役割分担し、ルールを守って遊ぶ共同遊びから、ルールやマナーを身につけます。<br>○人との関わりを通して、身近な人と信頼関係を築き、安定した関係を形成するための支援を行います。 | | |
| 家族支援 | ○家庭での様子、デイでの様子を共有する事で、お子様の課題、状態状況を把握し、共通理解を図ります。<br>○出来る範囲で、ご希望をお聞きし、送迎対応行っています。 | | 移行支援 | 就労支援事業所や一般企業、各関係機関と連携をとり、個別支援計画やその計画に基づいた具体的な活動の内容と児童の活動の様子等について情報連携を行い、社会にスムーズに移行できるよう支援します。 |
| 地域支援・地域連携 | ○就労支援事業所と連携し、見学、体験。<br>○一般企業へ就労体験に行き、実際の社会体験を行います。 | | 職員の質の向上 | ○毎月、テーマ研修を実施します。<br>○定期的に児童のカンファレンスを行っています。 |
| 主な行事等 | 就労支援事業所への見学・体験　一般企業へ社会体験　誕生会　避難訓練 | | | |